平成22年度小学校学習状況調査　第６学年　理科　評価規準と評価の観点

学年	領域	内容	評価規準	通し番号	観点 科学的な思考	技能表現	知識理解
第５学年の内容	Ｂ物質とエネルギー	(1)ア	・ものの溶け方から，もとの液について推論できる。	(1	○		
		(1)ア	・器具を適切に操作して，正しい方法でろ過できる。	(2		○	
		(1)ア	・メスシリンダーを適切に操作し，水の体積を読み取ることができる。	(3		○	
		(1)イ	・物の溶け方の規則性を調べ，実験の結果を推論することができる。	(4	○		
		(3)ア	・振り子の運動の変化とその要因を関係付けて考えることができる。	(5	○		
		(3)ア	・振り子の運動の周期を決める要因を理解している。	(6			○
	Ｃ地球と宇宙	(2)ア	・流れる水には，土地を削ったり，石や土などを流したり積もらせたりする働きがあることを理解している。	(10			○
第６学年の内容	Ａ生物とその環境	(1)イ	・消化管のつくりとはたらきについて理解している。	(13			○
			・デンプンとヨウ素液の反応について理解している。	(14			○
			・消化の働きを調べた結果から，デンプンの変化を考察することができる。	(15	○		
		(2)ア	・日光とでんぷんのでき方の比較対照実験の方法を考え，計画することができる。	(16		○	
			・日光とでんぷんのでき方の比較対照実験を行うために使う試薬を理解している。	(17			○
			・葉でできたでんぷんは，植物の成長などに使われることを理解している。	(18			○
	Ｂ物質とエネルギー	(2)ア	・物の燃焼について興味・関心をもち，その仕組みを考察することができる。	(19	○		
			・二酸化炭素と石灰水の反応について理解している。	(20			○

移行・追加された内容（領域及び内容は，新学習指導要領に対応している。）

第５学年の内容	Ａ物質・エネルギー	(3)イ	・電磁石の強さと，電流の強さや導線の巻き数を関係付けて考えることができる。	(7	○		
		(3)イ	・電流の強さを変化させて，電磁石を強くする実験方法について，適切に図に表すことができる。	(8		○	
		(3)ア	・方位磁針を用いて，電磁石の極が変わることを調べるための適切な実験方法を選択することができる。	(9		○	
第６学年の内容	Ｂ生命・地球	(1)エ	・小腸のつくりと働きを理解している。	(11			○
		(1)エ	・じん臓の働きについて血液循環とのかかわりに基づき理解している。	(12			○